

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名	Isophorone、イソホロン
供給者の会社名称	アーク株式会社
住所	大阪市中央区安土町3-5-13 本町ガーデンシティテラス3階
電話番号	06-6563-7710
FAX番号	06-6563-7720

2. 危険有害性の要約

GHS分類	JIS Z 7252、7253:2019 使用
物理化学的危険性	
引火性液体	区分4
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分4
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
発がん性	区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)【区分3】	気道刺激、麻酔作用
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分3
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	



注意喚起語
危険有害性情報

警告
可燃性液体
飲み込んだり皮膚に接触すると有害
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
呼吸器への刺激の恐れ
眠気またはめまいのおそれ
水生生物に有害

注意書き
[安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
炎および高温のものから遠ざけること。禁煙。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。
飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
火災の場合：消火するために粉末、乾燥砂、泡を使用すること。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
施錠して保管すること。
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

[応急措置]

[保管]

[廃棄]

3. 組成、成分情報

化学物質/混合物の区別:	化学物質
化学名又は一般名:	イソホロン

濃度又は濃度範囲:	>99.0% (GC)
CAS RN:	78-59-1
別名	3,5,5-Trimethyl-2-cyclohexen-1-one
化学式:	C9 H14 O
官報公示整理番号	
化審法:	(3)-2381, (3)-2389
安衛法:	公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合:	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。 医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。 医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
応急措置をする者の保護:	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤:	粉末, 泡, 二酸化炭素
使ってはならない消火剤:	水(火災を拡大し危険な場合がある)
特有の消火方法:	消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項: 封じ込め及び浄化の方法 ・機材:	製品が排水路に排出されないよう注意する。 ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。 大量の流出には盛土で困って流出を防止する。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策:	取扱いは換気の良い場所で行う。 適切な保護具を着用する。 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。 炎および高温のものから遠ざけること。 静電気対策を行う。 設備などは防爆型を用いる。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。
注意事項:	できれば、密閉系で取扱う。 蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。
安全取扱い注意事項: 保管 適切な保管条件:	あらゆる接触を避ける。 容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。 施錠して保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
安全な容器包装材料:	法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:	密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
管理濃度: 許容濃度:	設定されていない。
ACGIH TLV(CL):	5ppm
OSHA PEL(TW A):	25ppm

保護具

呼吸器の保護具:	防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
手の保護具:	不浸透性の手袋。
目の保護具:	保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具:	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態(20°C):	液体
形状:	透明
色:	無色 ~ うすい黄色
臭い:	ペパーミント 臭
臭いの閾値:	0.20ppm
pH:	情報なし
融点:	-8.1°C
沸点/沸騰範囲:	213-214°C
引火点:	85°C
燃焼又は爆発範囲	
下限:	0.8%
上限:	3.8%
蒸気圧:	40Pa/20° C
蒸気密度:	4.8
比重:	0.922
溶解度	
[水]	微溶 (1.2g/100mL, 25° C)
[その他の溶剤]	
可溶:	エーテル, アルコール, アセトン, 多くの有機溶剤
オクタノール/水分配係数:	1.67
自然発火温度:	460°C

10. 安定性及び反応性

反応性:	情報なし
化学的安定性:	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性:	特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件:	裸火
混触危険物質:	酸化剤, 強塩基, アミン類
危険有害な分解生成物:	二酸化炭素, 一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性:	ihl-hmn TCLo:25ppm ihl-rat LC50:7 g/m ³ orl-rat LD50:1870mg/kg skn-rbt LD50:1500uL/kg
皮膚腐食性/刺激性:	skn-rbt 100mg/24H M LD
眼に対する重篤な損傷/刺激性:	eye-hmn 25ppm/15M eye-rbt 920ug SEV
生殖細胞変異原性:	msc-mus-lym 400mg/L sce-ham-ovr 1 g/L
発がん性:	orl-mus TDLo:128.75g/kg/103W -I orl-rat TDLo:128.75g/kg/103W -I
IARC =	情報なし
NTP =	情報なし
生殖毒性:	ihl-mus TCLo:115ppm/6H (6-15D preg) ihl-rat TCLo:115ppm/6H (6-15D preg)
RTECS番号:	GW 7700000

12. 環境影響情報

生態毒性:	
魚類:	48h LC50:340ppm (Oryzias latipes) 96h LC50:>100mg/L (Oryzias latipes)
甲殻類:	48h EC50:220mg/L (Daphnia magna)
藻類:	72h EC50:110mg/L (Selenastrum capricornutum)
残留性/分解性:	1.5%(by BOD), 2.6%(by TOC), 1.0%(by GC) * 既存化学物質安全性点検による判定結果: 難分解性
生体蓄積性(BCF):	1.1 - 1.8(conc. 0.5ppm)

* 既存化学物質安全性点検による判定結果：低濃縮性

土壤中の移動性	
オクタノール/水分配係数:	1.67
土壌吸着係数(K _{oc}):	200
ヘンリー定数(PaM /mol):	0.7
オゾン層への有害性:	情報なし

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。
 地方条例や国内規制に従う。
 焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラパーを備えた焼却炉で焼却する。
 空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類:	国連の分類基準に該当せず。
国連番号:	該当なし。
輸送の特定の安全対策及び条件:	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法:	第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性
安衛法(第57条):	名称等を表示すべき危険物及び有害物
安衛法(第57条の2):	名称等を通知すべき有害物及び有害物
化審法:	優先評価化学物質
海洋汚染防止法:	施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質

16. その他の情報

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。
 ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。